www.kumazawa-ayari.com

あやり通信5

発行：熊沢あやり事務所　〒194-0032 町田市本町田 2923　ＴＥＬ．０４２-７２８-００８８

大好きなまちだから、ずっとみんなで暮らしたいまちに

町田市議会議員
第37代
町田市議会議長

熊沢あやり

町田市議会議長／税理士

熊沢あやり PROFILE

ごあいさつ

令和２年２月21日、第37代町田市議会議長に就任させていただきました。町田市議会初の女性議長として、誇りと責任をもって議会運営に取り組ませていただいております。

議長就任直後から始まった、新型コロナウィルス感染拡大により、これまでの生活が一転いたしました。これまでの議長とは異なった業務を行いました。

本会議、委員会、議会運営委員会など、議長が議会で開催する会議をどのような形で開催するか、がまず課題となりました。これまでは、一つの部屋に大勢が集まり、議論をしていく形式をとっていましたが、新型コロナウィルス感染拡大抑制には、人が集まらないように、とのことですので、これまで通りの会議開催が困難になりました。本会議場では傍聴席も議員の議席とし、議員同士の席の間隔を開け、出席する市長部局の部長は発言者のみ本会議場に入り、交代制としました。

未曽有の状況であり、保健所の業務過多、小中学校の休校、学童保育の対応、保育園等の対応、これまでと違った業務が市役所内も増加しました。そのため、市職員にコロナ対策業務に専念してもらうために、議員の皆様にご理解をいただき、３月議会における一般質問を取りやめていただくなど、ご協力をいただきました。一般質問は議員が本会議場において、日ごろの議員活動等で生じた市の課題、市の一般事務に関して質問をする、任期中に16回しかない大事なものです。その１回を中止するというのは議員の皆さんの英断でした。あらためて感謝を申し上げます。

また、感染状況や市の対応状況など、毎日のように市長部局から報告がありました。会議や打ち合わせのない日も市役所で待機し、常に報告が受けられるようにしておりました。議会への報告を迅速に行うことによって、様々な対応を迅速に行えるよう尽力しました。夕方まで待機し、報告がない日もありました。

最近は、ウィルスの状況が明らかになってきており、市の対応もしっかりと取れるようになり、ワクチン接種も進んできていることもあって、急を要する報告も減ってきましたので、夕方まで待機することはなくなりました。

少しずつですが、日常生活が戻ってきております。これからも皆様の声をしっかり受け止め、税理士としての専門性を活かして「ムリ、ムダ、ムラをなくし住みよいまちづくり」を進め、「ずっとみんなで暮らしたい町田」「笑顔あふれる町田」にしていきたいと思います。

昭和46年　町田市本町田に生まれる
昭和53年　玉川学園幼稚部 卒業
昭和59年　玉川学園小学部 卒業
昭和62年　玉川学園中等部 卒業
平成　2年　玉川学園高等部 卒業
平成　7年　玉川大学文学部英米文学科
（国際経営専攻卒業）
平成　9年　帝京大学大学院法律学研究科修了
（元一橋大学長 川井健教授の下で『家族法』を研究）
平成11年　桜美林大学大学院国際学研究科修了
（木下裕一教授の下で『国際会計』を研究）
平成11年　熊澤裕人税理士事務所 勤務
平成13年　熊澤礼里税理士事務所 開業
平成14年　町田市議会初当選
（2,962票／36議席中31番）
平成15年　災害対策委員会副委員長
平成16年　議会運営委員会副委員長
平成18年　町田市議会 都市環境常任委員会委員長
平成24年　町田市交通安全推進協議会会長
平成23年　長男出産
平成25年　長女出産
令和　2年　町田市議会議長

【現在の主な役職】
《市議会》町田市議会議長／健康福祉常任委員／災害対策委員／防災会議委員／多摩地域都市モノレール等建設促進協議会構成員
《その他》自民党都連青年局会計監査

Kumazawa Ayari

Q&A

☆議長の仕事ってどんなことをするの？

- 議長が議会で開催する会議（本会議、委員会、議会運営委員会等）への出席
- 議長宛に案内のあった各種団体の会合または行事への議長としての出席
- 議長が議会を代表して通夜、告別式への出席
- 議長が決裁のため、市役所への登庁

☆議会車を使う時のルールって？

- 送迎場所は原則として自宅。ただし、公務への出席時間等の都合で他の場所への送迎は可能

皆様の市政へのご意見・ご要望をお聞かせください

私たちも一緒に頑張ります

自民党町田総支部長
前東京都議会議員
よしわら修

市民と進める！新しい町田。

都議会で培った経験を活かし、熊沢あやり議員と一緒に町田の街づくりに全力で取り組みます！

東京都議会議員
星だいすけ

都政の力を町田の街づくりに！

都政と市政の連携を一層進め、熊沢あやり議員と共に新しい町田の街づくりを推進します！

まちだの新たな学校づくり

笑顔があふれる町田へ

熊沢あやりは、皆様の声を実現します。

まちだの新たな学校づくり

町田市は高度成長時代に団地建設や住宅建設が進み、人口が急激に増加してきました。多くの小中学校が建設され、一つの町内会に７つの小学校が存在する所もありました。近年は、少子化が進み児童生徒数が減少し、校舎の老朽化が課題となっております。

現在の学区の中には、人口増に伴って設置されており、しっかりとした計画にのっとってというよりも、増加のスピードに追い付くように急いで設置されたと思われるところもあります。地域の特性にあっていない所もあります。

例えば、本町田の子ども達は町田第三小、本町田東小、本町田小、町田第一小、町田第六小、南大谷小、金井小、の七つの学校に分かれており、藤の台の子ども達は、藤の台小、本町田東小、金井小、の三つの学校に分かれています。

このように、現在ばらばらになっている学区を、地域と子どもたちの連携を整えるために、本町田地区と藤の台の子ども達は一つの小学校で地域の方々に支えられ、地域の方との交流を含める、そのための新たな学校づくり、適正配置となっております。

どこの学校をなくす、どこの学校を残す、ではなく、子ども達にとってよりよい環境をどうつくっていくのか、町田市全体を一度フラットにして、新しい学区、新しい学校をつくっていきます。

●きめ細やかな教育のための適正配置

学校適正配置をしたら、大規模になりきめ細やかな教育が出来なくなるのでは？と心配される方もおりますが、校舎を建て直して教室数を増やすなど、余裕ある環境をつくり、少人数対応ができる教室を設置するなど、よりきめ細やかな教育ができます。

●防災拠点としての学校はどうなるの？

適正配置が進むと避難所・防災拠点が減ってしまうのでは？というお声をいただきます。今は以前と比べ、地震だけでなく集中豪雨など多くの自然災害に見舞われることが増えております。避難所・防災拠点の重要性は以前より増しております。学校跡地に新たな地域の拠点を建設し防災拠点の役割も担っていきます。

●学童保育はどうなるの？

適正配置に伴って学童保育クラブはどうなるのですか？というご質問をよく受けます。
町田市の学童保育は全て小学校の敷地内に設置されております。多くの育成室がプレハブ施設で、学校の敷地の空いているところに設置されているため、環境面で恵まれているとは決して言えません。学校が建設される際に、学童保育施設も設計にしっかりと組み込み、子どもたちが安心して過ごせる学童保育クラブにしていきます。いままで通り、全員入会でき余裕のある育成室を整備していきます。

●学校が遠くなってしまうのでは？

学校の適正配置が進むと、今よりも学校が遠くなる場合があります。子どもたちが安心して登下校できるよう、スクールバスなど、子どもたち安心して安全に登下校できるようにしてまいります。

中学校給食について

町田市では、平成 17 年に弁当併用方式で中学校給食が始まりました。当時、私は一期生議員でした。

多くの保護者の方が議会まで要望においでになり、どのような形で行っていくのがよいか、と議論いたしました。自校方式・給食センター方式など検討いたしました。保護者の方々の早急に中学校給食を始めてほしいという要望を受けて、弁当併用方式で開始いたしました。

その後、様々な議論を重ね、給食センター方式での中学校全員給食が始まります。町田市を三地区にわけ、三か所に給食センターを建設します。旧忠生第六小学校跡地、金井スポーツ広場の一部、東光寺公園調整池上に建設予定です。建設できる場所から順次建設し、そのエリアの中学校から中学校給食を開始していきます。

地域の方々のご協力を得ながら、令和６年より開始予定です。

中学校給食の給食センターでは、中学校給食だけでなく、「食を通じた、地域みんなの健康づくりの拠点」をコンセプトに食をメインに多くの世代に健康づくりの提供と、それを通じて世代間の交流することが出来る「食と健康づくりの拠点」となります。

給食センターが出来ることにより、学童保育への給食提供を要望していきます。

安心して子供を産み、育てられる町田、子ども達がのびのび育つ
町田へ向かって、全力で取り組みを進めています。

熊沢あやり事務所　〒194-0032 町田市本町田 2923　ＴＥＬ．０４２-７２８-００８８